

事業継続計画（BCP）

新型コロナウイルス感染症等感染症編

令和3年8月

社会福祉法人夢と虹の会

1. 基本方針

自然災害や新型コロナウイルス感染症拡大など、社会に大きく影響を与える事象が多くおこる昨今。様々な事象に対応し、被害を最小限にとどめ事業を継続していくために、事業継続計画（以下、BCP）を策定するものである。

本計画は、日本国内において新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の大流行が懸念される場合に備え、本法人の施設において実施すべき事前対応策、感染防止対応並びに業務の継続・縮小・休止に関する行動基準・実施事項を定めるものであり、基本方針は以下のとおりである。

本計画における新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症に係る呼称は、以下「新型コロナウイルス感染症」と称する。

① 利用者の安全確保

利用者は、一般人に比べ相対的に体力が弱いことに留意して感染防止に努める。

② サービスの継続

利用者の健康・生命を守る事を第一に、利用者のQOLを維持する。

③ 職員の安全確保

業務の特性上、職員は一般企業と比べ感染リスクが高いことに留意し感染防止に努める。

1) 新型コロナウイルス等感染症 発生段階とステージ

発生段階		ステージ	
段階	状態		
未発生期	感染症が発生していない状態	ステージ0	
海外発生期	海外で新型コロナウイルス等感染症が発生した状態	ステージ1	
国内発生早期	国内のいずれかの都道府県で新型コロナウイルス等感染症の患者が発生しているが、全ての患者の接触歴を疫学調査で追える状態		
国内感染期	国内のいずれかの都道府県で新型コロナウイルス等感染症の患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった状態	【地域発生早期】 各都道府県で新型コロナウイルス等感染症の患者が発生しているが、全ての患者の接触歴を疫学調査で追える状態	ステージ2
		【地域感染期】 各都道府県で新型コロナウイルス等感染症の患者の接触歴が疫学調査で追えなくなった状態	ステージ3
小康期	新型コロナウイルス等感染症の患者の発生が減少し、低い水準でとどまっている状態		

※地域感染期に至らない状態で、自施設に感染者が発生した場合は、ステージ3に準じた対応を実施する。

2) 維持すべき業務の分類

業務	内 容	業 務
A	通常時と同様に継続すべき業務	食事、排泄、保清（清拭等。歯磨きを除く）、各作業等
B	感染予防・感染拡大防止の観点から新たに発生する業務	利用者家族等への情報提供、施設内の消毒、感染物の処理、来所者の体温測定等
C	規模・頻度を減らす事が可能な業務	外出行事、講師・ボランティアの受け入れ等
D	休止・延期できる業務	上記以外の業務

※本法人の組織全体を維持するために、職員への給与支払い、各種物品の調達・整備・修繕、取引先への支払い等、人・物・資金に関する業務も A に位置付ける。

3) 主管部門

本計画における主管部門（統括）は理事長とする。

4) 対応全体像

本法人の BCP はステージ 2 の段階で発動する。

2. ステージ 0 における対応

本ステージにおいては、新型コロナウイルス等感染症がまだ発生していない状況であり、対応は計画のメンテナンス及び周知とステージ 1 以降の緊急時対応を見据えた事前準備が中心となる。

1) 対応事項

項目	対応事項
計画のメンテナンス	毎年下記項目についてメンテナンスを実施 <input type="checkbox"/> 定めてある業務分類は妥当か <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス等感染症の情報の反映 <input type="checkbox"/> 研修や日々の行動で洗い出された課題
計画の周知徹底	定期的に研修・訓練等を実施 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス等感染症の基礎知識の習得 <input type="checkbox"/> BCP の内容理解 <input type="checkbox"/> BCP の内容に沿った訓練
体制構築	以下に関する検討・見直しを実施 <input type="checkbox"/> 緊急時の役割分担・代行者の検討 ・全体統括 ・情報収集 ・利用者家族等への情報提供 ・感染予防対応に関する業務（B）の統括 ・業務継続対応に関する業務（A、C、D）の統括

感染予防対応	以下に関する検討・見直しを実施 <input type="checkbox"/> 職員に対して、マスク・手洗い等個人レベルで実施する対策に関する事前教育 <input type="checkbox"/> 備蓄品管理 <input type="checkbox"/> 職員・利用者向け検温・体調チェックルールの整備 <input type="checkbox"/> ハイリスク職員の把握
業務継続対応	以下に関する検討・見直しを実施 <input type="checkbox"/> 人員と対応能力の評価・分析 ・業務 A、B を遂行するために最低限必要な人員数の把握 ・業務 A、B を遂行するために必要なスキルの把握 <input type="checkbox"/> 委託業者のサービス継続対応の事前協議 <input type="checkbox"/> 備蓄品管理

3. ステージ1における対応

本ステージにおいては、新型コロナウイルス等は発生しているものの、施設周辺地域では感染者が発生しておらず、感染予防に関する本格対応の必要性が顕在化していない状況。したがって、ここでの対応は、感染状況を中心とした情報収集と、ステージ2以降に実施する「感染予防対応」の準備、並びに「業務継続対応」の実施に関する利用者家族等への事前アナウンスが中心となる。

1) 以下の役割を担う者が各担当業務を遂行する。

役割	担当者	代行者
全体統括	理事長	管理者
情報収集	管理者	事務長
利用者家族への情報提供	主任	副主任
感染予防対応に関する準備	副主任	その他の正職員

2) 対応事項

項目	対応事項
情報収集	主に以下に関する情報を収集 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス等感染症の感染拡大状況 <input type="checkbox"/> 国、自治体、保健所等の対応状況 <input type="checkbox"/> 委託業者、近隣病院、近隣他施設の対応状況
利用者家族等への情報提供	利用者家族等との連絡体制を構築 利用者家族等にステージ2以降実施する対応に関して、情報を事前伝達。 <input type="checkbox"/> 提供業務の縮小・休止 <input type="checkbox"/> 利用者感染（疑）時の対応
感染予防対応の実施	個人対応の依頼 職員・職員の家族・利用者・利用者家族等に以下を実施するように依頼 <input type="checkbox"/> マスクの着用

		<input type="checkbox"/> 手洗い・咳エチケットの励行 <input type="checkbox"/> ソーシャルディスタンスの励行
	組織としての対応	施設入り口手洗い場に以下の物を配備し、使用を励行 <input type="checkbox"/> 消毒液
感染予防対応の準備		以下対応を実施 <input type="checkbox"/> 備蓄品のチェック（不足があれば調達） 職員・利用者・利用者家族・委託業者等に対して、ステージ2以降実施する対応に関して情報を事前伝達する。 <input type="checkbox"/> 体温、体調のデイリーチェック <input type="checkbox"/> 業務Dの縮小・休止 <input type="checkbox"/> 感染（疑）者発生時の対応
業務継続対応の準備		以下対応を開始する。 <input type="checkbox"/> 出勤情報の管理、欠勤可能性の検証 <input type="checkbox"/> 委託業者の事前連携について情報共有 職員・利用者に対して、ステージ3以降に実施する以下の対応について情報を事前伝達する。 <input type="checkbox"/> 業務A・C・Dの縮小・休止

4. ステージ2における対応（BCP発動のステージ）

本ステージにおいては、新型コロナウイルス等感染症の感染者が施設の周辺地域で発生しており、感染予防に関する本格対応の必要性が顕在化している一方で、職員や家族に感染者が発生しておらず、業務継続対応に関する本格対応の必要性はまだ顕在化していない状況。したがって、対応は、感染予防対応の本格実施と、ステージ3以降に実施する「業務継続対応」に関する準備が中心となる。

1) 以下の役割を担う者が各担当業務を遂行する。

役割	担当者	代行者
全体統括	理事長	管理者
情報収集	管理者	事務長
利用者家族への情報提供	主任	副主任
感染予防対応に関する準備	副主任	その他の正職員

2) 対応項目

項目	対応事項
情報収集	主に以下に関する情報を収集 <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス等感染症の感染拡大状況 <input type="checkbox"/> 国、自治体、保健所等の対応状況 <input type="checkbox"/> 委託業者、近隣病院、近隣他施設の対応状況 <input type="checkbox"/> 職員家族、利用者家族の感染状況 <input type="checkbox"/> 委託業者等の感染状況
利用者家族等への情報提供	適宜、情報を提供する。

感 染 予 防 対 応 の 実 施	個人対応の依頼	職員・職員の家族・利用者・利用者家族等に以下を実施するように依頼 <input type="checkbox"/> マスクの着用 <input type="checkbox"/> 手洗い・咳エチケットの励行 <input type="checkbox"/> ソーシャルディスタンスの励行
	組織としての対応	【対職員・利用者・利用者家族・委託業者等】 <input type="checkbox"/> 施設入口・トイレにアルコールを設置 <input type="checkbox"/> 施設立ち入り前、トイレ使用後の手の消毒を依頼 <input type="checkbox"/> 利用者の消毒をサポート 【対職員・職員家族】 <input type="checkbox"/> 毎朝出勤時の検温 <input type="checkbox"/> 検温結果が37度以上の場合、その他体調がすぐれない場合（喉の痛み・味覚・嗅覚障害等）は上長へ報告する。 <input type="checkbox"/> 上長は報告に対して以下のとおり対応する。 ・職員本人が37度以上の場合、その他体調がすぐれない場合は出勤停止。 ・職員家族が37度以上の場合、その他体調がすぐれない場合の出勤可否は適宜判断する。 【対利用者】 <input type="checkbox"/> 毎朝検温を実施し、結果を記録する。 <input type="checkbox"/> 検温結果が37度以上の場合、その他体調がすぐれない場合（喉の痛み・味覚・嗅覚障害等）は上長へ報告する。 <input type="checkbox"/> 上長は、上記報告に対して以下のとおり対応する。 ・対象者にマスクを装着（していない場合、装着可能な場合）。 ・空間的隔離の必要性を検討し、可否を判断する。
	業務継続対応の準備	以下対応を開始する。 <input type="checkbox"/> 出勤情報の管理、欠勤可能性の検証

5. ステージ3における対応

本ステージにおいては、新型コロナウイルス等感染症の感染者が施設内でも発生しており、感染拡大防止に関する本格対応のみならず、業務継続に関する本格対応の必要性が顕在化している状況。したがって、対応はステージ2から本格実施している感染予防対応の継続実施と、業務継続対応の本格実施が中心となる。なお、小康期においては、各対応を事態の進捗に応じて段階的に縮小していく（以下、小康期固有の記載はしない）。

- 1) ステージ2同様の形態で実施していく。
- 2) 対応項目

項目	対応事項
情報収集と共有	以下に関する情報を継続して収集の上、施設内で共有

		<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス等感染症の感染拡大状況 <input type="checkbox"/> 国、自治体、保健所等の対応状況 <input type="checkbox"/> 委託業者、近隣病院、近隣他施設の対応状況 <input type="checkbox"/> 職員家族、利用者家族の感染状況 <input type="checkbox"/> 委託業者等の感染状況
	利用者家族等への情報提供	適宜、情報を提供する。
感 染 予 防 対 応 の 実 施	個人対応の依頼	職員・職員の家族・利用者・利用者家族等に以下の実施継続 <input type="checkbox"/> マスクの着用 <input type="checkbox"/> 手洗い・咳エチケットの励行 <input type="checkbox"/> ソーシャルディスタンスの励行
	組織としての対応	【対職員・利用者・利用者家族・委託業者等】 <input type="checkbox"/> 施設入口・トイレにアルコールを設置 <input type="checkbox"/> 施設立ち入り前、トイレ使用後の手の消毒を依頼 <input type="checkbox"/> 利用者の消毒をサポート 【対職員・職員家族】 <input type="checkbox"/> 毎朝出勤時の検温 <input type="checkbox"/> 検温結果が37度以上の場合、その他体調がすぐれない場合（喉の痛み・味覚・嗅覚障害等）は上長へ報告する。 <input type="checkbox"/> 上長は報告に対して以下のとおり対応する。 ・職員本人が37度以上の場合、その他体調がすぐれない場合は出勤停止。 ・職員家族が37度以上の場合、その他体調がすぐれない場合の出勤可否は適宜判断する。 【対利用者】 <input type="checkbox"/> 毎朝検温を実施し、結果を記録する。 <input type="checkbox"/> 検温結果が37度以上の場合、その他体調がすぐれない場合（喉の痛み・味覚・嗅覚障害等）は上長へ報告する。 <input type="checkbox"/> 上長は、上記報告に対して以下のとおり対応する。 ・対象者にマスクを装着（していない場合、装着可能な場合）。 ・空間的隔離の必要性を検討し、可否を判断する。
	業務継続対応の準備	以下対応の実施 <input type="checkbox"/> 業務の絞込み（縮小・休止） <input type="checkbox"/> 業務手順（省力化）の変更（食器の使い捨て等） <input type="checkbox"/> 職員の現在の出勤状況と今後の欠勤可能性を検証 <input type="checkbox"/> 委託業者の稼働情報を入手